

一般社団法人日本薬学生連盟

2021 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	栗原百萌																													
立候補する役職	外務統括理事																													
大学/学部/学科	慶應義塾大学薬学部薬学科																													
学年	2 年																													
所属	外務部、財務部、関東支部本部、学術委員会、公衆衛生委員会																													
日本薬学生連盟での活動経歴	2019 年 外務部、財務部、関東支部本部、学術委員会、公衆衛生委員会所属																													
立候補動機	<p>私は今年の6月に日本薬学生連盟に加盟したばかりですが、この数か月間で多くの人と話し、自分とは異なる考え方や価値観を学び、成長することができました。外務部に入った当初は、外務部の仕事やその重要性、意義について捉えきれませんでした。外務部員として活動し、部員と助け合っていく中で、外務部の存在意義や使命、仕事から得られるスキルの大切さ、実用性を実感しました。私はこのたった数か月間で成長でき、団体の魅力を沢山知ったことで、この団体がどんどん好きになりました。同時に、日本薬学生連盟の未知の可能性も感じました。私は外務統括として、団体と外部をつなげる素晴らしい架け橋となり、この団体の魅力、会員の想いを多くの人に伝えていきたいです。そして、外務部員一人ひとりが外務部に価値を見出し、1年間を通して何らかのスキル、経験を得ることができるような環境を作り、部員と共に私自身も成長していきたいと思っています。また、役員の一員としては、この団体をもっと大きく、社会的に認められ、会員一人ひとりが自信をもって誇れるような団体にしたいです。以上の理由から、外務統括理事に立候補いたしました。</p>																													
問題点と改善案	<p>(問題点)統括のみでやっている仕事が多く、統括と部員では仕事量、他団体とのつながりの強さ、得られるスキルの量が異なる。部員にしかできない仕事がない。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th>統括として活動することで得られること</th> <th>部員ができるかどうか</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>メールの作成スキル</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>社会人と接する際のマナー、礼儀</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>多くの人と関わり、視野が広がる</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>自分の名前を他団体や企業に認知してもらえる</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>リーダーシップ力、コミュニケーション力、統率力、問題の発見力、解決力</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>団体の運営力</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th>部員だからこそできること</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑦</td> <td>情報を拾ってくる、関わりたい団体を探す</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>統括が気付かないような、部員の意見・要望を発言する</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>統括と部員の立場的な溝を埋める</td> </tr> </tbody> </table> <p>(方法1)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外務統括としてのビジョン、目標を mtg など共有する。 2. 電話やアンケートを通して、部員一人ひとりのニーズ、目標を把握する。 3. 部員一人ひとりのニーズ(①～⑤)、目標にあった仕事(⑦～⑧)を副統括が割り振る。 (副統括の役割…上記⑨ 仕事内容…部員の意見集約、仕事の割り振り) <p>(方法2)</p> <p>外務統括として行った仕事、方法1で部員に任せた仕事を他の部員に共有する。 目的: 外務部の動き、参加した部員の感想などを他の部員にも知ってもらうことで、より外務部の仕事に興味を持ってもらう。部員が個々の目標に近づくサポートをする。 手段: google ドキュメントや議事録で共有する。</p>		統括として活動することで得られること	部員ができるかどうか	①	メールの作成スキル	○	②	社会人と接する際のマナー、礼儀	○	③	多くの人と関わり、視野が広がる	○	④	自分の名前を他団体や企業に認知してもらえる	○	⑤	リーダーシップ力、コミュニケーション力、統率力、問題の発見力、解決力	○	⑥	団体の運営力	×		部員だからこそできること	⑦	情報を拾ってくる、関わりたい団体を探す	⑧	統括が気付かないような、部員の意見・要望を発言する	⑨	統括と部員の立場的な溝を埋める
	統括として活動することで得られること	部員ができるかどうか																												
①	メールの作成スキル	○																												
②	社会人と接する際のマナー、礼儀	○																												
③	多くの人と関わり、視野が広がる	○																												
④	自分の名前を他団体や企業に認知してもらえる	○																												
⑤	リーダーシップ力、コミュニケーション力、統率力、問題の発見力、解決力	○																												
⑥	団体の運営力	×																												
	部員だからこそできること																													
⑦	情報を拾ってくる、関わりたい団体を探す																													
⑧	統括が気付かないような、部員の意見・要望を発言する																													
⑨	統括と部員の立場的な溝を埋める																													

<p>活動計画</p>	<p>4, 5, 6月 関係者挨拶、部員の目標設定、ニーズ把握、ビジョンの共有 7月 部員のニーズ、目標ごとに班分け 8, 9月 班体制の強化、副統括決め 10月 班ごとにイベントの立案 11月 イベント準備 12月 企画書提出 1, 2月 イベント開催 3月 年会、1年の振り返り</p> <p>(通年) 通常業務(メール管理・添削、対外対応、他団体イベント参加など)、部員との交流、部員のニーズ把握、目標達成のためのプランニングアシスト</p>
<p>所信</p>	<p>皆さんはどのような自分になりたいと思って日本薬学生連盟に入りましたか？ その時なりたかった自分に、少しでも近づくことができましたか？ この団体に入ってこんなに成長したと、過去の自分に誇ることはできますか？</p> <p>私はこの問いに自信をもって「はい」と答えられるように、日々自問自答を繰り返しています。しかしそれは、団体に入ってまだ数か月の私だからこそ出来ていることではないでしょうか。勉強やバイト、友人との付き合い、団体の仕事などで忙しい私たちにとって、この問いを持ち続け、努力し続けることは決して簡単なことではありません。皆さんは、なりたい自分に近づけずにもどかしく感じたこと、すべてを投げ出したくなったことはありませんか？</p> <p>日本薬学生連盟には困ったときに相談に乗ってくれる仲間がいます。目標に向かって一緒に頑張れる、尊敬できる仲間がいます。一人ひとりがこの団体に自分なりの価値を見いだせてさえいれば、やりたいことを実現できるだけの「人と歴史と基盤」があります。考え方、価値観、やりたいこと、将来の夢が全く異なる私たちが、やりたいことを発言でき、叶え、輝けるプラットフォーム。私は日本薬学生連盟がこれからも薬学生にとってそんな存在であってほしいと思っています。</p> <p>私は外務統括として、日本薬学生連盟と外部をつなげる架け橋となります。その架け橋が素晴らしいければ、その橋を渡り、その先の景色を見てみたいと思いませんか？私はその素晴らしい架け橋となるために、目標に向かって努力し、団体の活動を全力で楽しみます。</p> <p>私の外務統括・理事としてのゴールは3つあります。1つ目は、外務部員一人ひとりが何らかのスキル・経験を得ることができるような環境を作り、部員と共に私自身も成長すること。2つ目は、外務部員に外務部の価値を見いだしてもらうこと。3つ目は、役員の一員として団体の魅力を外部に発信し、この団体をもっと大きく、今よりも社会的に認められる団体にすることです。そしていつか、会員が大学を卒業しても、日本薬学生連盟で活動していたことに胸を張って誇れるようになれば良いと思っています。</p> <p>最後になりますが、日本薬学生連盟に入ったことで私は多くのことを学び、共に高めあえる仲間に出会い、なりたい自分を見つけることができました。この団体と私をつなげてくれた友達、途中から入った私を受け入れてくれたスタッフの方々、私の前を走り続け、支えてくださった先輩方に感謝しています。その感謝の気持ちを忘れずに、やると決めたことに責任をもって外務統括の仕事を全うし、目標のために努力し続けることを誓います。</p>